辻南小コミスクだより

R5第2号　令和5年10月20日

10月17日（火）第２回学校運営協議会報告

南風委員会（代表委員会）児童が参加しました

６年生の前期南風委員会児童 14 名が、業間休みから３校時にかけて、会議に参加しました。

はじめに、代表児童があいさつ運動の取組を発表した後、３グループに分かれて協議会委員の机につきました。委員のグループ分けも、保護者・地域・学校関係をミックスしました。

初めての試みなので、子どもたちの率直な意見を聞きたいという会長の提案もあり、テーマ「あいさつ」についてざっくばらんに意見交換しました。

南風委員会児童による発表

グループから出された意見

【あいさつキャンペーンをやってみて】
- 班長があいさつしたら広がっていった
- がんばっているが、なかなかうまくいかない
- 高学年はあいさつが増えたが、低学年はなかなか増えない
- 学校が近い地区なので、通学路に地域の人がいないのであいさつできなかった
- 南風委員会児童は、正門に立ってあいさつをしてもらえない側も体験した
- 低学年があいさつできるように、低学年の子が楽しくなる取組ができないか
  今回はあいさつできたら班長がシールを貼ったが、低学年の子が貼るようにするなど

【地域の人とのあいさつについて】
- 下校中、「お帰り」と言われてびっくりした
- 公共施設の人、病院の人、店のレジの人などへもあいさつしてよいことがわかった
- 近所の人、知り合いやよく見かける人、安全を守ってくれる人、笑顔の人、優しい人にはあいさつしやすい

【家庭でのあいさつ】
- 自分は親にするけれど、きょうだいはしていない
- きょうだい同士はあまりしていない

【あいさつのよさ】
- 雰囲気がよくなる、明るくなる、コミュニケーションが取れる
- 礼儀正しくなくても、「やー」「おー」などもあいさつ
- 自分からあいさつするとあいさつが返ってくる

【その他】
・あいさつをする相手、学年、タイミングでも状況は変わる
・声を掛けてほしくないときもあるので、状況を見極めることも必要
・関わりが深すぎると、あいさつを忘れてしまう
・あいさつができない場合は、その理由も考えてみたい

全体での話合いと熟議の総括・まとめ

- 大人と子どもが初めて話し合い、辻南小学校がよりよくなるために、たくさんのよいアドバイスがもらえた。
- 子どもたちが自分の意見をしっかりもって発表できたのは、すばらしい。みんなが楽しくあいさつできる環境づくりを目指してほしい。
- 知らない人が多い町の中では、あいさつはできないし、こわい。
  どうしたら町の中で顔見知りを増やせるか。地域のイベントなどに参加すると知り合いが増える。辻南小の子どもたちがイベントを大人にリクエストしてもよい。
- 通学班で、自分がまず大きな声であいさつをしてみたら、他の子もできた。誰かが大きな声で言うと、あいさつが増えると思う。
- 突然地域の人に「お帰り」というとびっくりされてしまうので、「気をつけて帰ってね」と声を掛けるようにしている。
- 毎朝登校時に３０分門の前に立ってあいさつしている。返してもらうと、活力が出てくる。通勤する地域の人にもあいさつをしていると、あいさつを交わすようになり、心も通じてくる。これからも積極的に行いたい。
- 親が元気だと、子どもも元気にあいさつする。大人が積極的にあいさつできる環境がつくれるように声を掛けたい。
- 学校でやったあいさつキャンペーンを、家でもやろうと提案してみたい。
- あいさつは気持ちの問題なので、無理やりではないようにしたい。子ども達には、クラスに今日話し合ったことを伝えて、これからの辻南小学校を盛り上げてほしい。

学校運営等についての意見の申出

【特別教室棟への冷房の設置について】

- 今年度予算で工業扇風機を購入。エアコン修繕も実施した。昨年度ＰＴＡから購入していただいた遮光カーテンを引き、冷房を入れ、教室棟の環境は良くなった。
- 特別教室棟のコンピュータ室は空調があるので、家庭科のミシン実習はそこで実施した。
- 中学校では、特別教室にもエアコン設置が進んでおり、体育館にも順次設置されている。
- 子どもたちの命に関わるので、行政に働きかけていきたい。

グループでの熟議

子どもたちは自分の意見をしっかり出していました。
「あいさつ運動」で作成した掲示について、詳しく話を聞く場面もありました。

辻南小コミスクだより

R5第1号　令和5年6月20日

令和５年度学校運営協議会委員

会長	辻南小学校 SSN 協議会座長
副会長	辻南小学校ＰＴＡ会長
委員	自治会会長
委員	交通安全協会支部長
委員	主任児童委員
委員	青少年育成地区会会長
委員	辻南小学校ＰＴＡ書記
委員	辻南小学校ボランティアネットワーク代表
委員	中学校校長
委員	小学校校長
委員	保育園園長
委員	本校地域連携コーディネーター
委員	本校教頭
委員	本校主幹教諭
委員	本校校長

令和５年度開催日

第１回　令和５年　５月２５日（木）　１０：００～１１：３０

第２回　令和５年１０月１１日（水）　１０：００～１１：３０

第３回　令和６年　２月１４日（水）　１０：００～１１：３０

スクール・コミュニティでの　人と人をつなぐ「あいさつ」の取組

５月２５日（木）第１回学校運営協議会にて

さいたま市は令和４年度から全校で学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを実施しています。辻南小学校は、先行して令和３年から実施しています。

今年度も、第１回協議会で、学校運営に関する基本的方針を承認していただきました。また、熟議では、学校・家庭・地域「それぞれの立場でできること」について、３つのグループに分かれて話し合いました。

その中で、昨年から課題の一つになっている「あいさつ」について取り上げられました。朝、通学路であいさつする子としない子がいる、登校前に家であいさつしているかも心配される、との意見が地域と家庭グループそれぞれから出ました。

あいさつは、今年度も継続していきたい取組です。

６月１２日（月）会長との懇談にて

学校運営協議会として今年度具体的にどのように取り組んでいくか、今後の方向性について会長と打合せしました。

そもそも家庭であいさつが習慣化できているか？

言葉だけでなく、非言語の関わりも大切

あいさつで子どもが地域とつながり、命も守ることができる

・あいさつ＝コミュニケーションをとる大切なツール
　　学校の目指す児童像、地域・保護者の願いにもつながる
　↓
・地域、家庭、学校で「あいさつ」について具体的な取組ができないか。
・何のためにするのか、意味を考えることで、意欲的にできるようにならないか。
・実態を把握するアンケートをとることで、意識が高められないか。

これからの取組

人と人をつなぐ「あいさつ」ができる子どもの育成を目指し
学校運営協議会と協働して、組織的に取り組んでいくために

・アンケートは、生徒指導部が中心となって作成する。（６月中）
・児童・家庭（できれば地域にも）にアンケートをとり、現状について把握する。（７月）
・あいさつについての取組やアンケート結果を学校だよりで家庭に知らせ、夏休み家庭でも意識的に取り組んでもらうようにする。（７月２回の学校だより）
・アンケート結果を基に、学校運営協議会長、PTA 会長、学校（校長、教頭、関係職員）で２学期に向けた取組を検討する。（７月１９日）
・南風委員会（児童会）等を活用し、児童同士どのような働き掛けができるか検討する。（２学期）
・第２回学校運営協議会に、南風委員会児童が参加し、児童の取組をプレゼンするとともに、委員との意見交換の場を設定する。（１０月１１日　第２回協議会）